

青森中央大橋無料開放に伴う交通量変化について

一般県道荒川青森(停)線「青森中央大橋」は、平成18年4月1日より無料で通行できるようになりました。県では、無料開放による周辺道路への影響を把握するため、交通量などの実態調査を計3回行いました。その結果についてお知らせします。

1. 調査日	1回目	事前調査(有料時)	平成18年3月23日(木)	天候:曇り
	2回目	事後調査(無料時)	平成18年4月3日(月)	天候:雨
	3回目	事後調査(無料時)	平成18年5月23日(火)	天候:雨
	※調査時間はいずれも7:00~19:00(12時間)です。			

2. 交通量の変化

※別紙に記載している交通量は、12時間交通量の観測結果を基に、平成17年10月に実施した全国一斉交通量調査(道路交通センサス)における昼夜率で、日当たり交通量(24時間)に換算しています。

〔問い合わせ先〕

青森県県土整備部

・監理課 企画調整報道監 上原 一恭
TEL:017-734-9639

・道路課 企画・市町村道グループ
グループリーダー(総括主幹) 三橋 友吉
TEL:017-734-9649

青森中央大橋無料解放に伴う交通量変化

1) 中央大橋の無料化により、中央大橋の交通量は約3倍に増加しました。 グラフ1参照

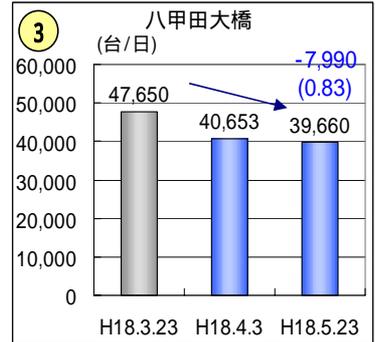
2) 並行する旭町地下道、八甲田大橋は、2回目調査(4/3)から更に交通量が減少し、交通の流れが改善されています。 グラフ1参照

3) 中央大橋の交通量分担率は、2回目調査(4/3)では29.1%だったのに対し、3回目調査(5/23)では30.8%となっており、交通量が平準化されてきています。 グラフ2参照

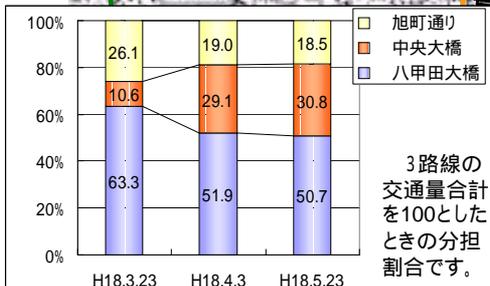
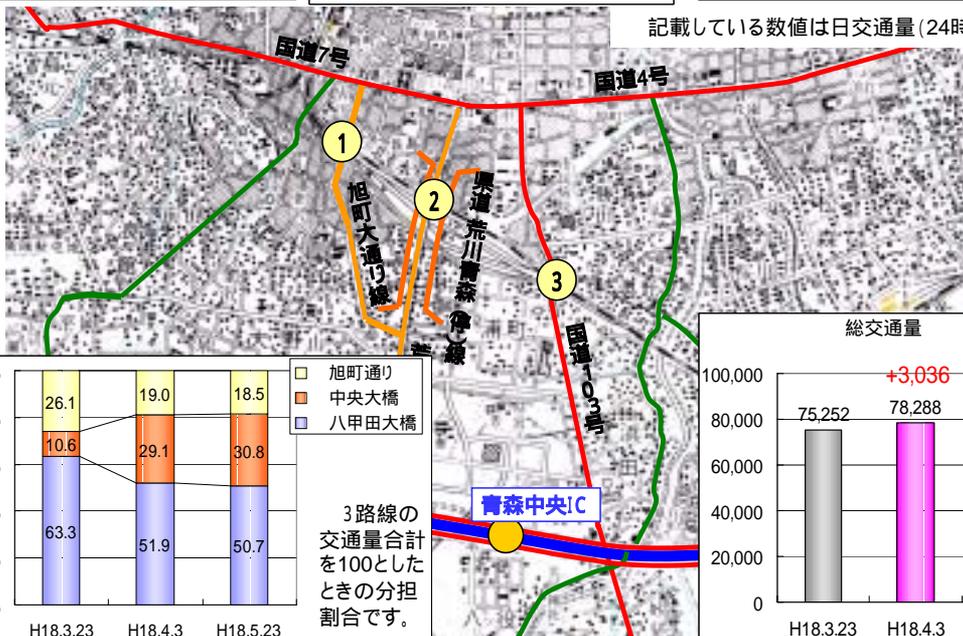
4) 3路線の総交通量は、事前調査(3/23)と比較し、事後調査ではいずれも約3,000台増加しています。 グラフ3参照

旭町通り 約5,100台減少(0.74)
2回目調査より約320台減少
中央大橋 約16,200台増加(3.03)
2回目調査より約1,300台増加
八甲田大橋 約8,000台減少(0.83)
2回目調査より約1,000台減少

【グラフ1】各路線の交通量変化



記載している数値は日交通量(24時間)です。



【グラフ2】交通量分担率



【グラフ3】総交通量